

景観計画区域内行為届出チェックシート

景観形成地区（上小路周辺地区）土地の形質の変更・木材の伐採等

※対応欄に✓を該当しない場合は斜線を記入、実施事項欄に配慮項目に対してどのような対応を行ったかご記入ください。

対応		景観配慮項目	実施事項	判定 (届出)	判定 (完了)
実施	否				
		現況の地形を活かし、地形の改変や盛土・切土は必要最小限に留めるよう努めている。			
		法面・擁壁が生じる場合には、できる限り周辺の景観と調和する工法、材料の使用に努めている。			
		既存の石垣は保全に努めている。やむを得ず撤去する場合は、最小限に抑え石垣の連続性が保たれるよう努めている。			
		土石の採取又は採掘を行う範囲は、必要最小限に留め、緑化や周辺景観に調和した塀の設置などで遮蔽するよう努めている。			
		行為後は、土地の原状回復に努め、周辺景観と調和するような緑化等の修景を行うよう努めている。			
		樹林や敷地内の緑は、保全するよう努めている。やむを得ず伐採する場合は、周辺の植生に合わせた緑化により最大限復元に努めている。			
		緑を増やす工夫に努めている。			